

情報部会の発足に当たって

富山県高等学校教育研究会情報部会長 藤 縄 太 郎

平成 15 年度から実施された新しい学習指導要領に併せ、各学校では普通教科「情報」のご指導をいただいているところであります。また、指導に際しては、新しい教科としての指導方法を早期に確立するため集中して研究に取り組んでいただいたことと思います。その一方で、先生方には、それぞれ専門の教科を担当されている中でのご研究でもあり、ご苦労もひときわ多かったことと思います。これまでの取り組みに敬意を表すとともに感謝申し上げる次第であります。

さて、今日の社会では科学技術の進展とともに、国際化、情報化、そして少子高齢化が進むなど、私たちを取り巻く社会の状況が大きく変化してきております。こうした中で、小中学校に続き高等学校でも学習指導要領が改訂され、社会の変化や産業動向に適切に対処し、これからの社会をたくましく生きた人材を育成するため、新しく、教科「情報」や「福祉」などの教科が創設されました。

ただ、創設されたというものの、新しい教科「情報」については、当初、この教科を指導していた教職員はおいでにならなかったわけでありまして。このため現在情報の免許をお持ちの方々には、長い講習を受けられ資格を取得いただいた状況であります。また平行して指導方法などの研修を進めていただいているところであります。しかしながら、まだ教科「情報」の研修の場は決して十分ではなく、新しい教育課程の実施早々より、不安なままでの船出にならざるを得なかったことと思います。こうした中で、研修の場を整える意味もあり、高教研における研究部会の創設が待たれていたところであります。幸いにも、この度、関係先生方のご尽力により、情報部会を立ち上げることができました。これまでの関係各位のご尽力に改めて感謝申し上げます。これまで全国では、すでに 30 を越える都道府県等で情報教育の研究会などが設けられ、定期的に総会や研究協議会を開催されていると伺っております。この情報部会が本県情報教育の中心として、研修の機会や様々な情報を共有できる場になればと願っております。そして、この情報部会の発足を期に、新たな先生方のネットワークが広がることを望んでおります。ただ、このネットワークの構築にはそれを支える端末やネット上で交換されるコンテンツが整わなければネットワークは決して意味をなしえません。このため、部会員一人一人が様々な実践され、その情報を相互に交換できる一つの大きなコミュニティとしてこの部会が機能することが望まれるわけでありまして。

ところで、教育課程審議会の答申や情報教育調査研究協力者会議の報告などによりますと、情報教育の目標は ・ 情報活用の実践力 ・ 情報の科学的な理解 ・ 情報社会に参画する態度の 3 つの観点にまとめられるかと思えます。

このうち、情報活用の実践力については、これから高等学校に入学してくる生徒は、中学校段階までにほぼ十分に情報活用の実践力を高めて入学してくるのではないかと感じています。このため、当初予想したものよりはむしろ指導内容の質を高め、教科書の点検や見直しも含めて検討することも必要になってきているかと思えます。

最近、情報活用手段に疎い高齢者など社会的弱者が犯罪被害にあっている現状があります。振り込め詐欺やカードの偽造など顔が直接見えない状況で、情報手段を悪用した犯罪等が起きるなどして深刻な社会問題となっております。こうした情報化社会の負の部分をも十分に理解した上で、本当の意味での情報活用の意義やメリットを理解し、この情報化社会に積極的に参加する態度を育てることが重要と考えます。情報モラルの必要性や個人情報の取り扱いなどに十分配慮し、情報が適正に取り扱われるためのルールや心構え、さらには情報を扱う際の責任についても指導する必要があると考えております。

情報化が一層進む中で、人間本来のコミュニケーションの立場で見ると、これからの社会においてこそ、実際に顔を合わせて向き合うことがいかに大切であるかに気付かされると思います。実際に向き合って話しかける場合、声だけを電話で伝える場合、手紙など文面だけで伝える場合のそれぞれを比較してみると、コミュニケーションの深まりに大きな差が感じられます。実際に向き合えば向き合うほど、相手に対して気持ちがいかに伝わり、気持ちも共有することができるようになると思います。

このように、情報機器を活用する際には、尚のこと、いつも相手に向き合っていることを心に留めながら、相手の気持ちを推し量る大切な心掛けが一層必要になってきます。どうか、これからの情報社会を生きる生徒達に、少しでもそのような面も含めて指導していきたいものと考えております。

終わりになりますが、本年度の第 1 回の研究発表大会の開催にあたり、研究発表を快くお引き受けいただいた先生方やこの情報部会の立ち上げの中心となり、ご尽力いただいた県総合教育センター科学情報部の先生方に感謝申し上げますとともに、今後の高教研情報部会の一層の発展を祈り、ご挨拶といたします。